

算数科年間指導計画

第4学年

学習目標

- (1) 除法についての理解を深め、適切に用いることができるようにする。また、小数及び分数の意味や表し方について理解できるようにするとともに、小数の加法及び減法の意味について理解し、それらの計算の仕方を考え、適切に用いることができるようにする。
- (2) 面積の意味について理解し、簡単な平面図形の面積を求めることができるようにするとともに、角の大きさの意味について理解できるようにする。
- (3) 図形を構成する要素に着目して、基本的な図形についての理解を深めることができるようにする。
- (4) 数量やその関係を式やグラフを用いて表したり考察したりすることができるようにするとともに、目的に応じて依存関係を調べたり分類整理したりすることができるようにする。

授業の工夫

児童が算数の学習は「楽しいもの」、「役に立つもの」という実感をもつことができるような授業を心がけていきたいと思ひます。そのために身近な問題を多く取り入れるとともに、実際の計算や測定をするなど作業的・体験的な活動を多く取り入れていきます。また、中学年の算数は計算技能の習得が大きな比重を占めます。繰り返し練習することにより確実に計算技能を身に付けさせていきたいと思ひます。

年間授業計画

月	単元名	時数		
4	1. 大きな数	7	<p>〔評価の観点〕</p> <p>【算数への関心・意欲・態度】 知識や技能などの有用さ及び数量や図形の性質や関係を調べたり筋道を立てて考えたりすることのよさに気付き、進んで生活に生かそうとする。 【数学的な考え方】 算数的活動を通して、数学的な考え方の基礎を身に付け、事象について見通しをもち筋道を立てて考える。 【数量や図形についての表現・処理】 整数や小数の計算が確実にでき、それらを用いるとともに、図形の面積を求めたり、図形を作図したり、数量の関係などを表したり調べたりする。 【数量や図形についての知識・理解】 数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、小数や分数の意味と表し方、面積の意味、基本的な図形の意味及び数量の関係の表し方や調べ方を理解している。</p>	
5	2. 円と球 3. わり算のきまり	17		
6	4. 1けたでわるわり算 5. しりょうの整理	18		
7	6. 角	10		
9	7. 三角形	13		
10	8. 2けたでわるわり算	15		
11	9. 面積 10. 小数	22		
12	11. がい数	10		
1	12. 折れ線グラフ 13. 式と計算	14		<p>〔評価の方法〕</p> <p>単元ごとのテスト・小テストなどを中心に、宿題や学習態度や発表など、普段の学習の様子を加味して評価をします。</p>
2	14. 分数 15. ともなっかわる量	15		
3	16. 4年のまとめ	9		
年間授業時数		150		